

2022 年度

言語教育研究科

入学試験問題集

公開用

<筆記試験>

麗澤大学大学院

目 次

言語教育研究科＜日本語教育学専攻＞

2022 年度

修士課程／Ⅰ期	4
修士課程／Ⅱ期	8

<備 考>

・掲載入試年度：2022 年度

- ① 語学の基礎力を試す問題（日本語を第一言語とする方は英語の問題、外国人留学生は日本語か英語の問題を選択）
- ② 日本語教育学（目安として、日本語教育能力検定試験の範囲内）の基礎知識と理解力を試す問題

言語教育研究科
修士課程

日本語教育学専攻

2022 年度 麗澤大学大学院言語教育研究科

日本語教育学専攻修士課程 I 期

一般・社会人選抜 入学試験問題

I. 【選択問題：日本語を第一言語とする者は(A)に解答すること。日本語を第一言語としない者は、(A)または(B) からどちらかを選んで解答すること】

(A) 【選 択】

次の英語の文章を読み、日本語に訳しなさい。

<110words 程度の英文が入ります>

出典 British Council “You and your data”

<https://learnenglish.britishcouncil.org/general-english/magazine-zone/you-and-your-data>

(B) 【選 択】（日本語を第一言語としない者のみが選択できる問題）

以下の例を読んで、問1から問3の問題に答えなさい。

食堂で注文した炒飯を待っている客が、自分より後に来た客に先に料理が出されるのを見て、こう言いました。

(1) 客「すみません、私の炒飯まだなんですけど。」

問1 上の発言の下線部は従属節の形をしていますが、あるべき主節がなく、形式的には途中で終わっている「言いきし」です。もしこの後に主節となるべき文が続くとしたら、どのような文が続くと考えられますか。

問2 例(1)の発話では、なぜ主節の文が省略されると考えますか。問1で答えた主節の文が省略される場合とされない場合とを比べて、ここでの省略にはどのような効果があると考えられるかを説明しなさい。

問3 以下の例では、教員の問いに対して学生が答えています。例(2)と例(3)とではどのような発話意図の違いがあると考えられますか。

教員「レポートは提出しましたか」

(2) 学生「はい、提出しました。」

(3) 学生「はい、提出しましたけど。」

Ⅱ. 【全員が解答する問題】

次の事項のうち、3つを選び、具体例を挙げて説明しなさい。

メタ言語

モーラ

直接受け身と間接受け身

拘束形態素

類義語

待遇表現

発話行為

シラバス

Ⅲ. 【全員が解答する問題】

次の(1)、(2)の問題に答えなさい（(1)、(2)両方とも解答すること）。

- (1) 以下の文章の①～⑩の（ ）に入れるのに最も適当な用語を、a～sのうちからそれぞれ1つ選びなさい。解答はすべて記号で答えなさい。同じ用語は1度しか使えません。同じ番号の（ ）の中には、同じものが入ります。

オーディオリンガルメソッドは、（ ① ）を理論的基盤として発達してきた教授法であり、この教授法では、（ ② ）のために何度も繰り返し練習をすることが重要だと考えられていたが、コミュニケーションができるようにならないことが指摘された。それに対して、コミュニカティブ・アプローチは、コミュニケーション能力の育成を目的としている。Canale（カナル）は、コミュニケーション能力には、文法能力、談話能力、相手や状況に応じて適切な言語使用をするための（ ③ ）、そして（ ④ ）が含まれるとしている。（ ④ ）は、自分の能力不足を補ったり、コミュニケーションがうまくいかなかったときに対処していくための（ ⑤ ）を使用する能力である。

また、この時期、第二言語習得の分野では、Long（ロング）がインターアクション仮説の中で、インターアクションの過程でコミュニケーションに障害があったときに起こる（ ⑥ ）が習得を促進すると主張し、Swain（スウェイン）はインプットだけでなく、言語形式に注意を向けた（ ⑦ ）が必要だと主張した。Schmidt（シュミット）は、第二言語習得が起こるためには、インプットが理解されるだけでなく、（ ⑧ ）が必要だと主張した。さらに、理科などの教科を第二言語で学ぶ教育方法である（ ⑨ ）では文法的正確さが身につかないことが指摘された。そのような背景の中で、コミュニケーションを中心にしながらも必要に応じて学習者の注意を形式に向けさせる（ ⑩ ）が提案された。

- | | | |
|---------------------|------------|-----------------|
| a. アウトプット | b. 訂正 | c. フォーカスオンフォーム |
| d. 気づき | e. リキャスト | f. イメージングプログラム |
| g. 意味交渉 | h. 教授可能性仮説 | i. フォーカスオンフォームズ |
| j. 認知言語学 | k. 行動主義心理学 | l. フォーカスオンミーニング |
| m. 習慣形成 | n. 日常言語能力 | o. 間接ストラテジー |
| p. 方略的能力 | q. 社会言語能力 | r. 談話ストラテジー |
| s. コミュニケーション・ストラテジー | | |

- (2) 教室にゲストを招き、学習者と共に授業に参加してもらった「ビジターセッション」という学習方法がある。あなたは、自分の教えているクラスで、90分のビジターセッションを行うことを考えている。あなたが想定する学習者の日本語レベルと人数を述べ、ビジターセッションを立案しなさい。さらに、このビジターセッションの効果としてどのようなものが期待されるかを書きなさい。

2022 年度 麗澤大学大学院言語教育研究科

日本語教育学専攻修士課程Ⅱ期

一般・社会人選抜 入学試験問題

I. 【選択問題：日本語を第一言語とする者は(A)に解答すること。日本語を第一言語としない者は、(A)または(B) からどちらかを選んで解答すること】

(A) 【選 択】

次の英語の文章を読み、下線部を日本語に訳しなさい。

<180words 程度の英文が入ります>

The Japan Times (January 16, 2021)より一部改編

(B) 【選 択】（日本語を第一言語としない者のみが選択できる問題）

以下の問題文を読んで、問1から問2の問題に答えなさい。

以下は、大学のクラスメートのAさんとBさんが明日の予定について話している会話です。会話(1)～(3)では動詞「行く」「来る」（下線部）がそれぞれ異なった用いられ方をしています。

会話(1)

A：「明日は大学に来る？」

B：「うん、来るつもりだよ」

会話(2)

A：「明日は大学に行く？」

B：「うん、行くつもりだよ」

会話(3)

A：「明日は大学に来る？」

B：「うん、行くつもりだよ」

問1

会話(1)～(3)において、AさんとBさんはそれぞれどこにいると考えられますか。

問2

上記の問1の回答から、日本語において「行く」と「来る」がどのように使い分けられているかを説明しなさい。

Ⅱ. 【全員が解答する問題】

次の事項のうち、3つを選び、具体例を挙げて説明しなさい。

派生語

前舌母音

文末詞

条件文

間接発話行為

コロケーション

学習者ビリーフ

アクションリサーチ

Ⅲ. 【全員が解答する問題】

次の(1)、(2)の問題に答えなさい（(1)、(2)両方とも解答すること）。

- (1) 以下の文章の①～⑩の（ ）に入れるのに最も適当な用語を、a～sのうちからそれぞれ1つ選びなさい。解答はすべて記号で答えなさい。同じ用語は1度しか使えません。同じ番号の（ ）の中には、同じものが入ります。

外国語教育の分野では、1960年代以降、クラッシュェンとテレルが提案した（ ① ）や、インプットの理解を優先し聞いたことに全身で反応させる（ ② ）などの、様々な教授法が提唱されてきた。コミュニケーション能力の育成を目的とする（ ③ ）では、言語の形式に焦点を当てるのではなく、言語の意味、つまりメッセージを伝達することに学習の重点を置く。その活動では、（ ④ ）が重視され、真の情報交換が行われるように、学習者同士に異なる情報を持たせた「（ ⑤ ）のある活動」が行われる。しかし、近年では、コミュニケーションを中心にしながらも必要に応じて（ ⑥ ）に注意を向けられることが言語習得を促すと考える「フォーカス・オン・フォーム」が注目を浴びている。

これらの近年の外国語教授法では、母語や媒介語を使わずに目標言語を使って授業を進める（ ⑦ ）が中心となる。（ ⑦ ）を行う際には、教師側は、語学教師が学習者のレベル等に配慮して話す話し方である（ ⑧ ）への注意が必要である。（ ⑧ ）は適切に使うことで、インプット仮説で言われている（ ⑨ ）なインプットを学習者に与えることができる。また、近年の教授法では評価方法も、何ができるかという言語運用能力を評価する基準である（ ⑩ ）で測る評価方法が取り入れられてきている。

- | | | |
|----------------|----------|----------------------|
| a. 理解可能 | b. タスク | c. ティーチャートーク |
| d. 練習 | e. 言語形式 | f. Can-Do Statements |
| g. 発音 | h. TPR | i. インフォメーション・ギャップ |
| j. 直接法 | k. 文法訳読法 | l. コミュニカティブ・アプローチ |
| m. 習慣形成 | n. 学習可能 | o. ナチュラル・アプローチ |
| p. 間接法 | q. ドリル | r. オーディオリンガル法 |
| s. パターン・プラクティス | | |

- (2) 日本語教育で取り入れられている「ピア・ラーニング」について、その学習方法の特徴と指導上の問題点を述べなさい。